

企画展示「関東南画のゆくえ 江戸と上毛を彩る画人たち」に関連して、当館所蔵品および寄託作品より近世末期から近代初期にかけての南画をご紹介します。

江戸時代の半ば、新たなジャンルとして成立した「南画」は、主に「文人画」などの中国絵画や画譜類をもとに形成されました。南画の成立と展開の中で、文人画だけでなく、様々な中国絵画や日本の伝統的な絵画、さらには西洋絵画などの表現も取り入れ、多様な広がりを見せたことから、従来、南画という語や定義を巡っては様々な議論が交わされてきました。また、文人画という語と併用されているため、どちらを用いるのが適切か研究者によっても意見が分かれており、南画自体が難解なジャンルであると捉えられてしまうこともあります。しかしながら、様々な絵画様式を取り入れて発展した南画は、様々な要素を含むゆえの多彩な魅力にあふれています。

近代になると、形骸的になりがちな南画への批判が起こったり、また西洋の表現主義と重ねて再評価され「新南画」が生まれたり、南画を取り巻く状況が激しく変化していきます。本展では、そうした中、江戸時代からの伝統的な南画の流れにあった、旧派とも呼ばれる作品を主に紹介しています。南画に親しみを感じ、興味を深めていただければ幸いです。企画展示とあわせておたのしみください。

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質・形状	寸法(縦×横cm)	備考
1	とみおかてっさい 富岡鉄斎	さんすいず 山水図	明治時代	絹本墨画・軸装	136.3×49.7	戸方庵井上コレクション
2	とみおかてっさい 富岡鉄斎	そうらんしやうへきず 層巒峭壁図	明治時代	絹本墨画・軸装	128.8×36.0	戸方庵井上コレクション
3	おくはらせいこ 奥原晴湖	しゅうこゆうしゆうず 秋湖遊舟図	明治12(1879)年	絹本墨画淡彩・軸装	158.4×71.4	
4	おくはらせいこ 奥原晴湖	山水図	明治13(1880)年	紙本墨画・軸装	129.3×44.0	清木真敏氏寄贈
5	こたまたかてい 児玉果亭	山水図	明治時代	紙本墨画淡彩・軸装 (二幅対)	各133.7×52.0	町田伝七氏寄贈
6	たさきさううん 田崎草雲	しやうきず 鍾馗図	明治時代	綿布墨画淡彩・軸装	189.0×79.5	寄託作品
7	たさきさううん 田崎草雲	びやくえかんのんず 白衣観音図	明治19(1886)年	絹本着色・軸装	112.0×42.2	寄託作品
8	たさきさううん 田崎草雲	せんざんばんすいず 千山万水図	明治時代	絹本墨画淡彩・軸装	171.4×58.0	
9	たさきさううん 田崎草雲	しゅうけいさんすいず 秋景山水図	明治時代	紙本墨画淡彩・軸装	138.5×54.7	寄託作品
10	たさきさううん 田崎草雲	せつけいさんすいず 雪景山水図	明治時代	紙本墨画淡彩・軸装	172.1×89.7	
11	こむろすいうん 小室翠雲	うじがわせんじんず 宇治川先陣図	明治29(1896)年	絹本着色・軸装	127.0×51.2	寄託作品
12	こむろすいうん 小室翠雲	さいれんしよくきんず 採蓮触禽図	大正8(1919)年	絹本着色・軸装	124.0×50.0	
13	こむろすいうん 小室翠雲	さんすいずびやうぶ 山水図屏風	大正12(1923)年	絹本金地墨画淡彩・幀装 (六曲一隻屏風)	168.8×373.8	
14	こむろすいうん 小室翠雲	しゅううしゅうしやう 春雨蕭々	大正9(1920)年	絹本着色・幀装 (六曲一双屏風)	各168.0×373.2	
15	あらいとうがん 新井洞巖	せいりよくさんすいず 青緑山水図	昭和11(1936)年	絹本着色・額装	143.5×43.2	寄託作品

*作品保護のため、会場内の温度、湿度、および照度を調整して展示しています。また、都合により展示作品を変更する場合がございます。ご了承ください。